

施策分析シート（平成26年度）

No1

施策名	総合的な交通体系の整備		施策No	12-03	部課名	防災都市づくり部交通対策課		
関連部課名								
行政評価事業体系	分野	安全安心都市						
	政策	12	利便性の高い都市基盤の整備					
目的	公共交通機関の充実を図ると共に、交通不便地域における高齢者や障がい者の移動の利便性向上を推進する。							
指	幸福実感指標名		指標の推移			指標に関する質問文		
			23年度	24年度	25年度			
	交通利便性				3.86	お住まいの地域は交通の便が良いと感じますか？		
	生活環境の充実				3.21	お住まいの地域が、バリアフリーの状況や交通の便、まちなみの良さ、快適さ等の点から総合して暮らしやすい生活環境であると感じますか？		
標	施策の成果とする指標名		指標の推移				指標に関する説明	
			23年度	24年度	25年度	26年度見込み		目標値(28年度)
	コミュニティバスの乗車人員(人)		2433	2963	3287	3650	4650	一日あたり
現状と課題（指標分析）	<p>JR線、京成線、地下鉄、都電荒川線、都バスに加え、平成17年につくばエクスプレス、平成20年に日暮里・舎人ライナーが開業し、区内の公共交通網の充実が図られた。</p> <p>平成22年には、日暮里・成田空港間を36分で結ぶ成田スカイアクセスが開業し、日暮里駅の交通結節点としての役割は飛躍的に高まっている。</p> <p>高齢者や障がい者等の移動手段の確保等に向けて、鉄道駅や主要施設までのアクセスが未だ不便な地域への対策として、平成17年4月よりコミュニティバスを導入している。</p>							
今後の方向性	<p>《今までの成果及び指標分析を踏まえて》</p> <p>コミュニティバスの既存路線の見直しや利用者へのサービス向上を図っていく。</p>							

施策の分類		分類についての説明・意見等
26年度	27年度	
重点的に推進	重点的に推進	交通不便地域において、高齢者や障がい者の移動手段を確保し、これを維持していくことは、区の大切な役割である。

施策を構成する事務事業の分類

事務事業名	事務事業 No	決算額（千円）		施策推進のための分類		分類についての説明・意見等
		24年度	25年度	26年度	27年度	
日暮里駅総合改善事業	10-03-02	-	-	継続	継続	日暮里駅整備(株)の適切な運営に関する調整を行う。
コミュニティバスの利用促進	10-03-03	38,396	2,615	重点的に推進	重点的に推進	高齢者・障がい者、交通不便地域に住む住民の日常生活の足として欠かせないものである。
つくばエクスプレスの利用促進	10-03-04	50	50	継続	継続	沿線地区の活性化のために利用促進を図る必要がある
合 計		38,446	2,665			